

# 道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道2号 <sup>ふくやまどうろ</sup> 福山道路	事業主体	中国地方整備局				
所在地	ひろしま ふくやま せと ながわ ひろしま ふくやま あかさかちよう 広島県福山市瀬戸町長和～広島県福山市赤坂町						
事業概要	<p>一般国道2号は大阪市を起点とし、広島県福山市などの諸都市を經由し、北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。</p> <p>福山道路は、福山市中心市街地の交通渋滞の緩和及び交通安全の確保を目的とした道路で、現在、福山市瀬戸町長和から赤坂町の約3.3kmについて整備中である。</p>						
事業採択年度	平成13年度（平成13年3月 都市計画決定（L=16.5km））						
総事業費	約360億円	既投資額	平成16年度末まで 約7億円（進捗率2%）				
再評価の視点	① 事業の必要性に関する視点	<p>ア) 事業をめぐる社会情勢等の変化</p> <p>経済活動の進展を背景に、東西方向を連絡する一般国道2号の交通量が増大している。国道2号は、順次バイパス等の整備を進めているものの、福山市中心部では慢性的な交通混雑が発生している。</p> <p>（事業化後の周辺開発状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H14 都市計画道路 神辺水呑線<sup>かなべのみ</sup> 芦田川大橋<sup>あしだかわ</sup> 供用</li> <li>・ H15 松永道路（福山市今津町）完成4車供用</li> <li>・ H16 福山港多目的国際ターミナル 完成 福山RDF発電所 事業開始</li> </ul> <p>イ) 費用便益分析（平成17年度価値換算による） <span style="float:right;">（残事業）事業全体</span></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">本事業に要する費用</th> <th style="width:50%;">本事業による効果（総便益）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>■ 事業費</p> <p>総事業費※1 (348)356億円</p> <p>現在価値事業費※2 (247)256億円①</p> <p>■ 維持管理費 (15)15億円②</p> <p>■ 残存価値※3 (8)8億円③</p> <p>総費用（C）</p> <p>①+②-③= (254)263億円</p> <p>※1：既に登録されている当事業に必要な費用。</p> <p>※2：将来または過去の費用を、現在の価値に換算したもの。</p> <p>※3：評価対象期間末時点で、当該事業に残っている価値。</p> </td> <td> <p>■ 走行時間 短縮便益 (404)404億円④</p> <p>■ 走行経費 減少便益 (46)46億円⑤</p> <p>■ 交通事故 減少便益 (24)24億円⑥</p> <p>総便益（B）</p> <p>④+⑤+⑥= (474)474億円</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align:center;">評価対象期間 = 整備期間+40年</p>		本事業に要する費用	本事業による効果（総便益）	<p>■ 事業費</p> <p>総事業費※1 (348)356億円</p> <p>現在価値事業費※2 (247)256億円①</p> <p>■ 維持管理費 (15)15億円②</p> <p>■ 残存価値※3 (8)8億円③</p> <p>総費用（C）</p> <p>①+②-③= (254)263億円</p> <p>※1：既に登録されている当事業に必要な費用。</p> <p>※2：将来または過去の費用を、現在の価値に換算したもの。</p> <p>※3：評価対象期間末時点で、当該事業に残っている価値。</p>	<p>■ 走行時間 短縮便益 (404)404億円④</p> <p>■ 走行経費 減少便益 (46)46億円⑤</p> <p>■ 交通事故 減少便益 (24)24億円⑥</p> <p>総便益（B）</p> <p>④+⑤+⑥= (474)474億円</p>
	本事業に要する費用	本事業による効果（総便益）					
<p>■ 事業費</p> <p>総事業費※1 (348)356億円</p> <p>現在価値事業費※2 (247)256億円①</p> <p>■ 維持管理費 (15)15億円②</p> <p>■ 残存価値※3 (8)8億円③</p> <p>総費用（C）</p> <p>①+②-③= (254)263億円</p> <p>※1：既に登録されている当事業に必要な費用。</p> <p>※2：将来または過去の費用を、現在の価値に換算したもの。</p> <p>※3：評価対象期間末時点で、当該事業に残っている価値。</p>	<p>■ 走行時間 短縮便益 (404)404億円④</p> <p>■ 走行経費 減少便益 (46)46億円⑤</p> <p>■ 交通事故 減少便益 (24)24億円⑥</p> <p>総便益（B）</p> <p>④+⑤+⑥= (474)474億円</p>						
費用便益分析の結果	<p style="text-align:right;">（残事業）事業全体</p> <p>前回評価 B/C = ( ) 2.5</p> <p>今回評価 B/C = (1.9) 1.8</p>						
<p>「費用便益分析マニュアル(案)による」 (H15.8.1付け国都街第39号、国道分評第15号通達)</p>							

事業名	一般国道2号福山道路 <small>ふくやまどうろ</small>	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	<p>①事業の必要性に関する視点</p> <p>ウ)事業の効果  一般国道2号福山道路は、福山都市圏交通円滑化総合計画の中で、抜本的対策として交通容量拡大施策に位置付けられており、関連路線である福山西環状線、及び福山沼隈道路等と一体となって事業効果を発現するものである。</p> <p>円滑なモビリティの確保・・・福山市瀬戸町周辺地域の交通渋滞緩和  (渋滞損失時間 約20%削減)</p> <p>物流効率化の支援・・・福山西IC～重要港湾福山港の所要時間の短縮  (約5分の短縮)</p> <p>個性ある地域の形成・・・福山西IC～主要観光地(鞆の浦)の所要時間の短縮  (約10分の短縮)</p> <p>地球環境の保全・・・福山市瀬戸町周辺地域のCO2排出量の削減 (約4千t/年)</p> <p>生活環境の改善・保全・・・福山市瀬戸町周辺地域のNO2・SPM排出量の削減  (NO2排出量約10%削減、SPM排出量約10%削減)</p> <p>他 7項目</p> <p>エ)事業の進捗状況</p> <p>1. 主な経緯</p> <p>平成13年 3月 都市計画決定</p> <p>平成13年度 事業化</p> <p>現地調査(山北地区を除く) <small>さほく</small></p> <p>平成14年度 詳細設計(山北地区を除く)</p> <p>平成15年度 設計協議着手(山北地区を除く)</p> <p>平成16年度 設計協議完了、<small>じとつ</small>幅杭設置・境界立会 用地調査着手  (山北地区や地頭分地区の一部を除く)</p> <p>山北地区 現地調査着手</p> <p>2. 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地補償の状況  現在、用地買収は未着手である。用地調査については、<small>じとうぶんいちばんぐみ</small>地頭分一番組地区及び山北地区を除き、平成17年度中に完了する見込みである。</li> <li>・工事の進捗状況  現在、工事は未着手であり、用地買収の状況を見ながら、着手することとしている。</li> </ul> <p>3. 地元の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福山道路では、平成13年度の事業着手からH17.8現在に至るまで、地元からの要請も含め延べ50回以上の説明会等を行い、事業の説明を実施しているところである。</li> <li>・瀬戸町地頭分地区、瀬戸町長和地区では、一部住民から用地の買い取り要望がある。</li> <li>・瀬戸町山北地区では、一部住民・市民団体から事業凍結の意見が出され、測量等現地調査に着手できない状態であったが、平成16年8月から10月にかけて、現地調査に対する住民への意向確認を行ったところ、多数の住民から現地調査への了解が得られたと判断できたため、平成16年12月より測量等を実施している。</li> </ul> <p>&lt;山北地区の意向確認結果&gt;</p> <p>地権者数：全体284名 内 了解は125名 (全体284名 内 共同所有153名 その内 了解は29名)</p> <p>所有区分：全体166件 内 了解は116件 (全体166件 内 共同所有 35件 その内 了解は20件)</p> <p>筆数：全体563筆 内 了解は399筆 (全体563筆 内 共同所有 98筆 その内 了解は42筆)</p> <p>面積：全体22万m2 内 了解は18万m2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、環境悪化などの理由から事業凍結を求める市民団体(「福山道路・福山西環状線等を考える瀬戸町住民の会」・「福山道路等の地権者トラストの会」・「福山バイパスと区画整理を考える会」)からの意見・質問等に対しては、国交省・広島県・福山市と連携し、個別に説明を行っており事業への協力が得られるよう努めていると考えている。</li> </ul>		

事業名	一般国道2号 <sup>ふくやまどうろ</sup> 福山道路	事業主体	中国地方整備局
再評価の視点	② 事業進捗の見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用地の進捗見込み これまでに用地協議の整った地区もあり買い取り要望もあることから、平成18年度より用地買収に着手する予定である。</li> <li>・ 工事の進捗見込み 現在、工事は未着手であり、用地状況を見ながら着手することとしている。</li> </ul>	
	③ コスト縮減や代替案の可能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新技術の積極導入や、建設副産物の発生抑制（現場発生土の現場内流用）、再生材利用等により、コスト縮減に努めることとする。</li> <li>・ 福山都市圏交通円滑化総合計画における、抜本的対策は福山道路等の整備であり、渋滞対策の代替案を検討する必要はないと考えている。 なお、福山都市圏交通円滑化総合計画の一方策であるノーマイカーデー等ソフト的施策についても、関係機関等と連携し、取り組んでいる。</li> </ul>	
今後の対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業継続 福山道路は、福山都市圏交通円滑化総合計画において、交通容量拡大施策に位置付けられており、関連路線である福山西環状線・福山沼隈道路等と一体となって、事業効果が発現するものである。 福山道路の整備により、中心市街地からの通過交通の分散導入が図られ、渋滞緩和に資するとともに、交通の安全性向上、環境の改善、観光振興及び地域開発への支援が可能となる。 従って、平成20年代の暫定供用を目指し、事業を継続する。</li> </ul>		